

県民フォーラム



「病気があっても、自分らしく自宅で過ごすために」

超高齢化社会を目前に、医療・介護・在宅看取りについて考えなければならない時代のなか、私たちは互いに支え合い、住み慣れた地域で、安心して「自分らしく」出来る限り自宅で過ごすこと、そして最期を迎えるための準備にも向き合わなければなりません。医療・看護・介護・福祉との関わりの実際からたとえ病気があっても出来る限り自宅で過ごすために、皆さん一緒に考えてみませんか？

第1部：基調講演

「在宅ケアの不思議な力」

あきやままさこ

講師：秋山正子氏



<略歴>

- 1950年 秋田県秋田市に生まれる
- 1969年 秋田県立秋田高等学校卒業
- 1973年 聖路加看護大学卒業～
22歳の時、産婦人科の看護師となる
大阪大学医療技術短期大学部看護学科 助手
日本パプテスト看護専門学校 専任教員
- 1992年 医療法人春峰会白十字訪問看護ステーション勤務
- 2001年 (有)ケアーズ・白十字訪問看護ステーション設立～
代表取締役所長 就任
特定非営利活動法人白十字在宅ボランティアの会理事長
- 2016年 日本初がん相談施設「マギーズ東京」設立 初代センター長

<テレビ出演>

2010年3月16日『プロフェッショナル仕事の流儀』「どんなときでも命は輝く」(NHK総合テレビ)

<著作物>

『在宅ケア不思議な力』『在宅ケアのつながる力』『家で死ぬこと、考えたことありますか?』
『在宅ケアのはぐくむ力』『つながる・ささえる・つくりだす在宅現場の地域包括ケア』医学書院 他

第2部：シンポジウム 「専門職と共に、安心して自宅で過ごす」

- シンポジスト：高木航氏 中之郷クリニック医師
大村早苗氏 つどいのおか訪問看護ステーション所長
村田雄二氏 静岡県介護支援専門員協会会長
コメンテーター：秋山正子氏

日時：令和元年11月16日(土) 13時00分～16時00分

会場：静岡労政会館ホール 静岡市葵区黒金町5-1

対象者：県内在住の方(定員250名) 定員になり次第締め切り

参加費：無料

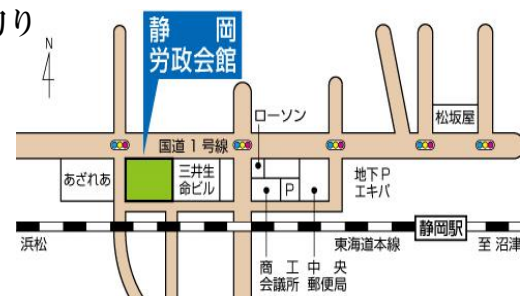
申込：電話またはFAXにてお申し込みください
(裏面の参加申込書をご利用下さい)

電話：054-275-3339

FAX：054-275-3338

一般社団法人 静岡県訪問看護ステーション協議会

静岡県静岡市葵区西門町2-7 スズビル001 701号室



※鏡文なしで、この用紙のみ送信して下さい

FAX 送信表

送信先：(一社) 静岡県訪問看護ステーション協議会

FAX：054-275-3338

11月16日(土) 県民フォーラム
「病気があっても、自分らしく自宅で過ごすために」
参加申込書

【 一般・医療関係 】 (どちらかに○を付けて下さい)

ふりがな	
氏名	
連絡先	
お住いの住所 (該当地区に○)	中部 ・ 西部 ・ 東部
	() 市 ・ 町
勤務先 (医療関係のみ)	

【 一般・医療関係 】 (どちらかに○を付けて下さい)

ふりがな	
氏名	
連絡先	
お住いの住所 (該当地区に○)	西部 ・ 中部 ・ 東部
	() 市 ・ 町
勤務先 (医療関係のみ)	